

# 「蕨島小学校の新地節伝承活動の取組」

## 1 学校名

出水市立蕨島小学校

## 2 学年・人数

1年生から6年生（計17人）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

令和5年8月～令和5年9月

### (2) 発表の日時・場所

令和5年10月1日(日) 体育館（蕨島小学校運動会）

令和5年11月11日(土) 体育館（130周年記念式典）

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

### (1) 名称

新地節(しんちぶし)

### (2) 由来

新地節は、古くから海岸近くの村々で踊り継がれて来たと伝えられている。蕨島はかつて島だったが、昭和29年の出水西干拓工事により陸続きとなった。この工事の竣工を祝って、当時の村人達によって踊られたのが蕨島新地節の始まりと言われている。その後、機会ある毎に婦人会によって踊られてきたが、30年ほど前から学校教育の一環として蕨島小学校の子供たちに受け継がれ、毎年運動会などで披露している。

### (3) 構成等

男女2人1組で踊る。男子は、踊り用の軽い鍬を使う。法被を着て、頭には、手ぬぐいの鉢巻、素足に草履履きで踊る。女子は、鉤紐のついた天秤棒に砂利を入れる籠をかけた道具を使う。手ぬぐいを姉さんかぶりにし、着物を着て、色物の襷をかけ、赤い腰巻き、手甲脚半に短い前掛け、素足に草履履きで踊る。18～19年前までは、歌い手や三味線、太鼓の演奏で踊っていた。

## 5 保存会や地域との連携の具体

「新地節保存会」を発足し、30年ほど前から、地域住民が蕨島小学校の児童に新地節の指導を行っている。現在、蕨島の郷土芸能として、根付いている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながら新地節を継承していくために、30年ほど前から、毎年蕨島小の運動会で披露している。

## 7 取組の様子



【運動会での発表】



【130周年記念式典での発表】

## 8 参加児童・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【下学年児童】

難しかったが、一生懸命練習して上手に踊ることができた。

練習のときも褒められてうれしかった。本番も上手に踊ることができた。

### 【上学年児童】

地域の方が教えに来ていただき、転入して初めて踊ったが、上手に踊ることができてよかった。地域の方も喜んでくれたので、来年度も、みんなで踊りを披露できたらと思う。

たくさんの地域の方が見に来てくれた。一つ一つの動きを大切に踊ることができた。これからも、継承していきたい。

### 【教職員】

毎年保存会の方々に来ていただき、運動会で披露している。地域の方の踊りに対する思いも聞くことができた。子供たちと共に、新地節を継承していきたい。

今年は、130周年記念式典でも、舞台上で踊ることができた。ことある毎に踊りを披露することで、新地節をしっかりと残していきたい。また、ふるさとの郷土芸能である新地節を通して、地域への誇りや愛着を育てることができるように、学校・保護者・地域で協力して取り組んでいきたい。

### 【保存会から】

毎年、踊ってもらっているが、今年も大変上手であった。地域が大切にしている踊りなので、これからはしっかりと継承していきたい。

### 【地域の方から】

今年も大変上手であった。出水の文化祭などどこで披露しても恥ずかしくない仕上がりであった。

新地節をオープニングで踊ると聞いた。新地節だけでも見たいと思って、運動会に参加した。新地節が見られて嬉しかった。